

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	口腔内細菌とIgA腎症の関連:扁桃標本におけるToll Like Receptor9(TLR)・TLR7発現に着目した検討
研究責任者	腎臓内科 三崎太郎
研究実施体制	聖隷浜松病院腎臓内科 三崎太郎、佐藤太一、清水吉貴 自衛隊入間病院内科(防衛医科大学校腎臓内分泌内科) 伊藤誓悟 大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座(小児歯科学) 末廣雄登、仲野和彦 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児歯科学分野 末原佳奈、松岡大貴 岡山大学学術研究院医歯薬学域(歯)小児歯科学分野 仲野道代、仲周平 広島大学小児歯科 野村良太、 兵庫医大総合診療内科 長澤康行
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2030年12月31日
対象者	聖隷浜松病院腎臓内科において、2017年4月1日~2024年3月31日に腎生検を行い、大阪大学小児歯科・岡山大学小児歯科との共同研究で唾液分析をした患者さんで、かつ、扁桃摘出した患者さん約100人。健常コントロールとして、聖隷浜松病院耳鼻咽喉科で慢性扁桃炎により扁桃摘出を行った年齢調整した50人の患者さん。
研究の意義・目的	本研究では、聖隷浜松病院で過去に腎生検を受けIgA腎症と診断された患者さんのうち、唾液分析および扁桃摘出術を行われた患者の摘出扁桃標本、腎生検標本、患者血清・尿を用いて、Cnm陽性 <i>S. mutans</i> をはじめとする口腔内細菌の分布と扁桃における糖鎖異常IgA、TLR9・TLR7の発現および臨床パラメータとの関連を検討します。
研究の方法	本研究は、臨床研究第3弾:口腔内疾患と慢性腎臓病(CKD)の関連の検討 改訂版2017. 2.14初版 2024. 7.1改訂(研究承認番号2315)研究に関連する研究であり、その研究で過去に得られた扁桃、唾液、口腔内所見、血漿、尿、臨床データ、腎生検データを使用する後方視的研究です。検体はIgA腎症患者約100例およびコントロールとして耳鼻咽喉科で慢性扁桃炎により扁桃摘出を行った年齢調整した50人の扁桃検体と手術を行った際の入院中の臨床データを使用します。IgA腎症に関連し得る各種口腔内細菌の感染と扁桃におけるTLR9・TLR7発現の関連について観察することで、これらの細菌がいかんして腎症病態に関わるかを明らかにすることが出来ると考えられます。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院腎臓内科（氏名）三崎太郎 TEL:053-474-2222(代表) 腎臓内科外来 9:00~17:00 平日